

中山道と本陣

なかせんどう

休泊控帳

をひもく

★ 本庄早稻田の杜ミュージアム
費用 無料
ム 71-6878

本庄レンガ倉庫
HONJO BRICK WAREHOUSE



2024 10 12(土)-13(日) 2025

日時 10月12日(土)～13日(日)
1月13日(祝)午前9時～午後7時
「年末年始」(12月29日～1月3日)を除く

会場 本庄レンガ倉庫1階

示スペース

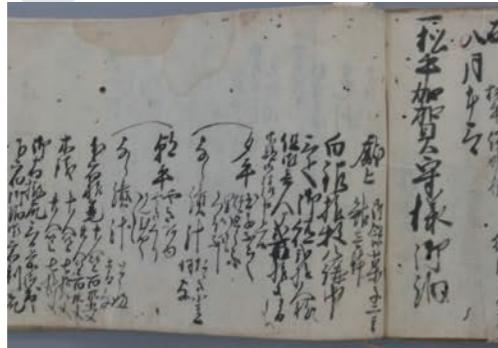
★ 本庄早稻田の杜ミュージアム

費用 無料

ム 71-6878



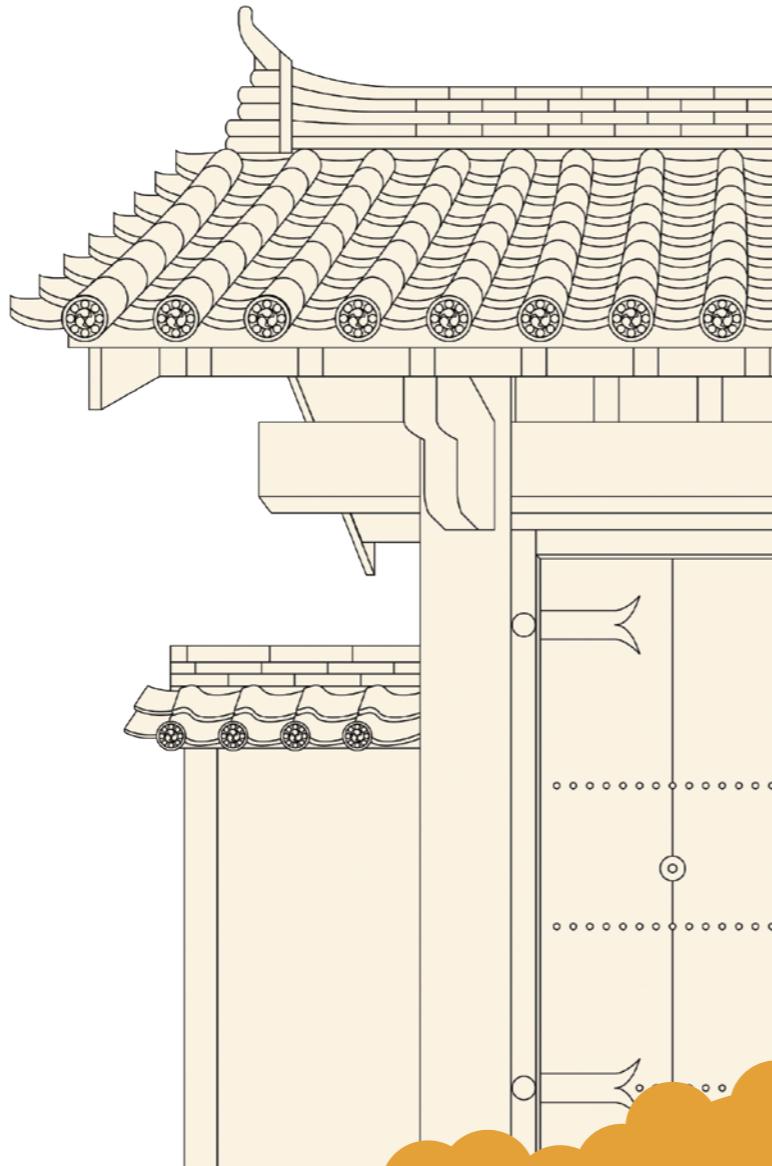
注目の展示品 「本陣の献立」



▲田村本陣休泊控帳 明和2年(1765)
個人蔵・本庄市寄託

加賀藩前田家が宿泊した際の夕食・朝食についての記録。夕食の「玉子ふわふわ」は江戸時代に流行した卵料理のひとつで、とき玉子に調味しただしを加え、厚手の鍋で加熱し、ふんわりと凝固させたものであるとされます。朝食に「焼あゆ」が出ており、鮎は献上品にもたびたびされており、名産といえます。

本庄宿田村本陣の「休泊控帳」は、寛永19年(1642)から文久3年(1863)までの221年間にわたる休泊記録です。そこには、宿泊した数多くの大名たちを迎えた本陣の準備や対応等の様子が書き記され、江戸時代の姿を身近に感じることができます。企画展では、田村本陣が残した「休泊控帳」の記事から本陣の業務や大名へのおもてなしを、具体的なエピソードを交えながら紹介します。



※この企画展は、本庄早稻田の杜ミュージアムで開催する企画展「中山道と本陣ー本庄宿と太田宿ー」の関連企画展です。ぜひ併せてご観覧ください。

—本庄とその周辺地域における埴輪の導入から終焉まで—

本庄市とその周辺地域は、埼玉県内で最も早く埴輪を導入した地域として知られていますが、その後も埴輪をもつ古墳が数多く築かれ、また埴輪窯跡も数か所に所在するなど、埴輪づくりがとても盛んな土地でした。

今回の展示では、本庄市や周辺地域で出土した埴輪の中から、特に注目すべき資料を体系的に集成し、当地域での埴輪の出現から終焉までの姿を紹介します。

ワークショップ 埴輪職人に挑戦 -ミニはにわをつくろう-

本物の埴輪をよく観察して、古墳時代の埴輪の作り方を学んだあと、自然乾燥で固まる粘土を使って、自分だけのオリジナル埴輪をつくります。

日時 10月26日(土)、27日(日) ①午前10時～、②午後2時～
講師 本庄早稻田の杜ミュージアム職員
定員 各10名(先着順) 費用 200円
用意 汚れてもよい服装

講演会

本庄・児玉地域における埴輪の導入と展開

最新の研究成果を踏まえ、市出土の埴輪の特徴やその考古学的な意義について、お話しします。

日時 11月30日(土) 午後1時30分～3時
講師 日高慎氏(東京学芸大学教育学部教授)

講座

盾持人物埴輪の意義

盾持人物埴輪の発生から埴輪が持つ固有の性格、時代ごとの変化について、詳しく説明します。

日時 11月16日(土) 午後1時30分～3時
講師 青笹基史氏(埼玉県立さきたま史跡の博物館)

東日本における馬形埴輪の出現と展開

生野山9号墳の馬形埴輪の評価とともに、馬形埴輪から判る古墳時代の馬の使われ方、馬が埴輪として造形されたことの意味などについて論じます。

日時 12月14日(土) 午後2時～3時
講師 斎藤直樹氏(藤岡市文化財保護課)

申込方法

【ワークショップ】10月13日(日)午前9時から電話または直接本庄早稻田の杜ミュージアムへ
【講演会・講座】10月24日(木)午前9時から電話、または直接本庄早稻田の杜ミュージアムへ

埴輪

▽修復後初公開▽

▼長沖十兵衛塚古墳(児玉町高柳)
出土の馬形埴輪



□の場合は、本文に希望する講演会名、受講者名、電話番号を記載してください。
★本庄早稻田の杜ミュージアム 71-6878
✉ hwmm@city.honjo.lg.jp